

# マルチキャスト中心に

## DXアンテナ

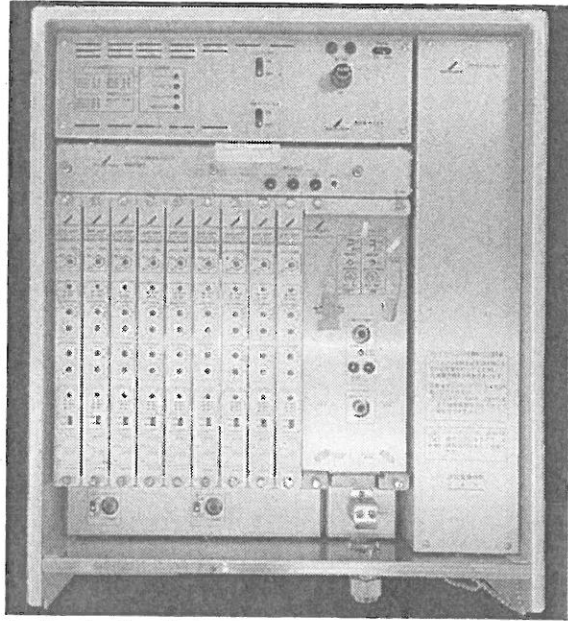
同社は、「DXマルチキャスト」を中心に、「可搬型ヘッドエンド」「高速同軸モデムEoC」「放送用プラットフォームであるD

光加入者端末V-ONU」Xマルチキャスト。などDXアンテナ独自の製品を中心に出展する。同社では、今後需要が見込まれる「放送と通信の融合」サービスに向けた新たな伝送システムの商品開発を行っており、ケーブル事業者からさまざまな意見や要望が寄せられている。

たとえば①新たなサービスにより新規顧客を獲得したい②サービス解約を防止したい③スマートフォンやタブレットなどの携帯端末連携サービスを検討したい—といった内容だが、こ

えられるのがDXマルチキャスト。ケーブルテレビ網は、地元密着・地域密着した情報伝送サービスを住民に提供できる唯一のインフラであり、新規顧客獲得・解約防止には付加価値の高い情報配信サービスの実現が不可欠。DXマルチキャストは情報送出局に「DXメディアサーバ」、家庭に「DXメディアゲートウェイ」を追加するだけで新たな付加価値サービスの提供が可能である。注目度は高く、昨年10月幕張で開催のCEATEC 2013では準グランプリを獲得した。

利用例、コンテンツ(福祉・防災・ライフライン)は、▽緊急地震速報の配信はもとより、津波警報、局地的な発生が予想されるゲリラ豪雨によるがけ崩れ、河川の氾濫情報等の特別警報などの緊急情報を瞬時に再送信用ヘッドエンドなどとして期待されている。



可搬型ヘッドエンド